vol.5

竜王町コンパクトシティ化構想の実現へ！

輝竜（きりゅう）の郷づくり 新時代へのチャレンジ

「地域コミュニティの維持・活性化」について

竜王町コンパクトシティ化構想の柱の一つである
地域コミュニティの維持・活性化への進め方について検討しています。

これまでの取り組み

平成28年度
- まちづくりタウンミーティングの開催
- まちづくりフォーラムの開催

平成29年度
- 地域支え合いしくみづくりモデル事業（鵜川・林）

平成30年度
- 町民ワーキング、コンパクトシティ化検討懇談会の開催
- 地域支え合いしくみづくりモデル事業（弓削・西川）

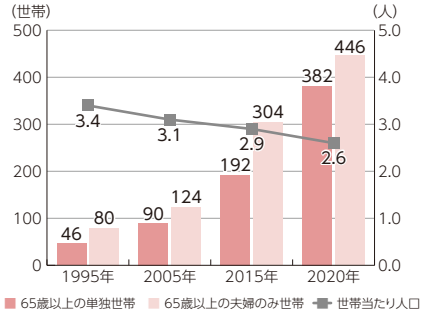
令和元年度
- まちづくり意見交換会の開催（町内５カ所）
- 地域支え合いしくみづくりモデル事業（山中・川上）

令和２年度
- 第六次竜王町総合計画策定
- 地域支え合いしくみづくりモデル事業実施地区との意見交換
- 全自治会対象アンケートの実施

令和３年度 現在
- 輝竜の郷づくり懇談会の開催（全５回）
- 「地域自治組織のあり方検討」庁内重点施策プロジェクトチームの設置
  - 職員対象まちづくり研修会の開催
  - 先進地視察の実施　（富山県南砺市・滋賀県東近江市・甲賀市）
  - 町職員に対して「自治会の現況と課題に関するヒアリング調査」の実施

世帯の小規模化がもたらす地域コミュニティへの影響

- 世帯当たり人口の減少により、世帯の力（自助）が縮小
- 地域の65歳以上の単独世帯、65歳以上の夫婦のみ世帯の比率が高まり、地域の担い手が減少し、地域の力（共助）が縮小
- 地域コミュニティに求められるニーズの変化（イベントから事業・サービスへ）



「世帯の力（自助）」や「地域の力（共助）」の縮小により、今までどおりの地域コミュニティの維持は難しい

解決するためには

地域や世帯の構造が変化しても、安心して暮らしていける
持続可能な自治会づくりが必要！

本町における地域コミュニティ活動の中心は町内32の自治会です。令和３年度は「地域自治組織のあり方検討」プロジェクトチームで、他市町の活動組織を視察しましたが、合併を契機に設立された新しい地域自治組織（まちづくり協議会等）の成り立ちや組織、活動をそのまま本町に当てはめることは難しく、先進事例も参考にしながら、本町独自にそのあり方を模索していくための進め方を整理しました。今後、町民の皆さまのご意見も頂きながら、一緒に本町にふさわしい地域自治組織のあり方を見いだしていきます。

自治会×行政
町が解決すべきこと
行政と自治会の関係を整理（行政から自治会への依頼ごとの整理〔棚卸〕）
各種役員の選出、会議の出席、行事ごとの参加・出役、全戸配布依頼、集金など

それぞれ見直し

自治会×区民
自治会が解決すべきこと
自治会自らが課題解決に向けて話し合い、決定する
事業・行事の見直し、役員の検討、若者・女性の参画など

１自治会で解決できないもの

自治会×自治会
連携して解決すべきこと
自治会間の連携で解決
事務の共同化、行事の合同実施など

問 未来創造課 政策推進係
☎58-3701

これまでの振り返りはこちら